

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

459号

2026 年 7 月 15 日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

医療と福祉を考える会「特別障がい者手当」の活用を 活用できる制度を知り、現場に活かす大切さ

尼崎支部は 6 月 20 日、尼崎商工会議所 601 号室で、108 回目となる「医療と福祉を考える会」を開催し、医師や介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護福祉士など 20 人が参加し学習した。「使える制度を見逃していませんか？『特別障がい者手当』の活用を～医学・医療と障がい・地域福祉～」をテーマに、神戸女子大学・客員教授で兵庫県高齢者生協・理事長の阿江善春先生が講演し、事例を紹介しながら障がい福祉の制度をわかりやすく解説した。当日は綿谷茂樹先生（尼崎支部支部長）が座長を務めるとともに、診断書の書き方のポイントを解説した。参加者の感想文を紹介する。



阿江善春先生が障害福祉制度をわかりやすく解説



20 人が参加し熱心に学習した

感想文

さっそくかかりつけ患者さんの確認をしたい

2026 年 1 月から尼崎市で開業し、この度保険医協会に入会いたしました。今回はじめて、「医療と福祉を考える会」に参加させていただきました。

（2ページへつづく）



綿谷支部長が座長を務め、
診断書作成のポイントも解説した

（1 ページからのつづき）テーマは「特別障がい者手当」でしたが、勤務医時代には学ぶ機会がほとんどなく、私にとっては未知の分野でした。地域差はあるものの、要介護 4～5 程度の方であれば、特別障がい者手当の申請によって認定される可能性が高く、月額 2 万 9590 円の給付が受けられること、またその申請書作成のコツについても具体的に学ぶことができました。

患者さんを経済面からサポートできる有意義な制度ですので、さっそく自院のかかりつけ患者さんの中で対象となる方がいないか確認してみようと考えております。

また、宝塚市のように障がい者手帳の保持者が自動的に給付を受けられる仕組みの事例なども伺い、医療者側からの行政への働きかけの重要性も痛感いたしました。

さらに、身体障がい者指定医の実際についても教えていただき、私も申請を行う予定です。

この度は大変貴重な学びをありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

【生田クリニック（上坂部） 生田 武蔵】

感想文

多制度の理解でより必要な支援が可能と学んだ

今回の研修を受講し、介護の仕事に携わる中で、一人ひとりの生活実態に合った支援をさせていただくために必要な知識を得ることができたと思います。

社会福祉や公的扶助の理解、また、社会保険の中でも、介護保険の枠だけではなく、障がい制度や医療、年金、雇用保険、労災など他の制度を理解することで、より必要な支援が出来ることがわかりました。

特別障がい者手当について初めて学びましたが、どのような状態の方が対象になるか確認する表や診断書の記載など、わかりやすく資料を用いて説明していただき、大変勉強になりました。障がい者手帳を所持していなくても、要介護 4～5 判定であれば受給できる可能性があるということだったので、まずは対象になりそうな方がいれば、相談につなげていきたいと思いました。

それ以外にも障がい者控除について、障がい者手帳の理解、それによる医療費助成のことについても知ることができました。障がい等級を判断するための指標の解釈や障がい等級によって得られる保障内容など知識があることで、少しでも利用者・家族の生活の支援につながるのではと思います。

今後は、受給の必要がある人が制度を利用しやすくなるように、医療や介護の窓口でも理解が広まってほしいです。また、特別障がい者手当が、介護度の規定ではなく生活状況の実態に合わせて必要な人が受けられるようになればいいなと思いました。

【デイサービスめばえ 岡本 泰輔

介護相談所めばえ 是澤 宏美】

アンケートより

- これまで制度的な話はうかがう機会がなかったため、大変勉強になりました。
- ケアマネをしておりますが、障がいに関しての知識がなく申請に関しては本人や家族まかせにしていたのですが、今日参加できた事によって利用者にアドバイスの際とても参考になりました。
- ケアマネが障がい者手帳等の申請に口を出してはいけないように思っていました。利用者の利益を考え助言できるのだと知ることができ、大変ためになりました。
- 介護に携わる立場として、今回の講義内容は「知っておくべき」「知っていなかったら片手落ち」な大切なポイントでした。わかっていないことも多々あり、大変勉強になりました。
- 医療の必要な方に制度を広げる取組を知って、とても学びになりました。
- 利用者の日常にふれているので何か使える制度はないか…との視点を持って対応したい。知らずに損をしないようにしっかり学んで制度を利用したい。
- 本日は大変勉強になりました。特別障がい者手当についての具体的内容もですし、障がい者福祉の内容、障がい者手帳について介護保険との絡み等勉強する事ができました。
- 患者さんに寄り添う医療、介護をめざしていくためにも、その人の生活を支えていく制度の活用は大切と思いました。受付業務を担当していますが、患者さんに対応する部署として様々な窓口を案内できるようになりたいと思いました。
- 今まで何気なくドクターが記載した診断書をみていましたが、今後はポイントを絞ってみることができるようになるくらいタメになる内容でとても勉強になりました。
- 特別障がい者手当を詳しく知れてよかった。クリニック内で共有し、患者支援になればと思います。
- 生活保護にはぎりぎり受けられない方で高齢の方もたくさんおられます。障がいもとれる方という方もたくさんおられます。「特別障がい者手当」の事はなんとなく知っておりました。家族さん等含めて安心のある生活をする事に役立てられると思います。

尼崎支部ニュースへの投稿を募集しています

日常診療にかかわることや、主張、
趣味のお話などお寄せください。



TEL:078-393-1817 / FAX:078-393-1802
e-mail:ishida-c@doc-net.or.jp 担当:石田まで

兵庫県保険医協会・第 35 回日常診療経験交流会

メイン
テーマ

国民皆保険 65 年、今までとこれから

●日 時 10 月 25 日（日）10 時～15 時

参加費無料

〈10 時～12 時：分科会、13 時～15 時：特別講演〉

●会 場 兵庫県保険医協会 会議室（WEB 併用）

（JR・阪神「元町駅」南へ徒歩 7 分、神戸フコク生命海岸通ビル 5 階）

特 別
講 演

経済なき道徳は寝言である

日本赤十字社医療センター 化学療法科部長

里見 清一（本名：國頭 英夫）先生

－分科会演題募集中－

- テ ー マ メインテーマ関連、医療・介護、在宅・地域医療、
病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、その他
※原則として、来場でのご発表となります。
- 発表時間 1 演題 10 分（別途、質疑応答）
- 応募締切 7/31（金）
- 演題抄録 400 字程度の抄録を 8/21（金）までに下記までお送りいただきます。
F A X : 078-393-1820
メール：o-sugimoto@doc-net.or.jp

お申込み・お問い合わせは TEL：078-393-1840 まで

－第621回幹事会だより－

6月17日（水）於：かごの屋 塚口店

- 尼崎支部の会員数
6/1 現在 医科386人、歯科168人
- 医療をめぐる情勢と運動対策等
5月成立した健康保険法等の改正をめぐって、「OTC類似薬の保険外し」や出産費用の無償化などの問題点等を議論した。
- 次回開催予定 7月18日（土）14：00～ 於、尼崎商工会議所702号室